



社会福祉法人 人を支える 生活を支える

佐賀整肢学園

SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

■発行：令和6年9月
■発行元：社会福祉法人 佐賀整肢学園
■発行者：理事長 中尾清一郎
■編集：法人広報誌編集委員

学園タイムス

2024-9 Vol. **42**

社会福祉法人 佐賀整肢学園

Sagaseishigakuen times

「波戸岬の夕日」

唐津市鎮西町の波戸岬キャンプ場オートサイトからの夕日です。眼前の玄界灘の海面がオレンジ色に染まり、夕焼けのリフレクションを眺めながら時間がゆっくりと流れていきます。季節によって夕日のベストポジションが変わっていくのも楽しみのひとつです。春と秋が最も快適にキャンプができると思います。



巻頭言…2

REPORT…3

令和6年度新規採用職員紹介…4～6

「決算報告」…7

事業所 TOPICS…8～9

「教えて!●●先生」 リレーコラム…10

ボランティア・施設見学・実習状況 みどころ…10

法人事務局	こども発達医療センター	オークス	かんざき清流苑
〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-97-6611 FAX0952-97-6611	〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立2215-27 TEL0952-98-2211 FAX0952-98-3391	〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立168-1 TEL0952-98-3770 FAX0952-98-3772	〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8890 FAX0952-52-9977
在宅サポートセンターかんざき清流苑	からつ医療福祉センター	からつ医療福祉センター-在宅事業部	からつ医療福祉センター-好学会
〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2927番地2 TEL0952-52-8915 FAX0952-52-9977	〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	〒847-0001 佐賀県唐津市双水2806 TEL0955-70-3580 FAX0955-78-0683	〒847-0001 佐賀県唐津市双水2787-1 TEL0955-78-1123 FAX0955-78-3001
糸島こどもとおとなのクリニック	かんざき日の隈寮	佐賀向陽園	居宅介護支援センターわいわい
〒819-1301 福岡県糸島市志摩井田原63-1 TEL092-327-0073 FAX092-327-0361	〒842-0107 佐賀県神埼市神埼町鶴2950-2 TEL0952-52-2229 FAX0952-52-7229	〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立801-1 TEL0952-98-1074 FAX0952-98-3145	〒849-0906 佐賀県佐賀市金立町大字金立799番地 TEL0952-71-8250 FAX0952-71-8252



施設が開設するまで

社会福祉法人佐賀整肢学園

法人事務局 局長

こども発達医療センター 副センター長

森 英明

今年の夏も尋常ではない暑さが続いています。皆さん、体調はいかがでしょう。

「今日も、暑くなりそうですね。」が、朝の挨拶の言葉になっています。気象庁の統計によれば、昨年夏（6～8月）の平均気温は基準値（1991～2020年の30年平均値）から+1.76℃高かったそうです。今年の夏は更に上回るのではないのでしょうか。

さて、今年、社会福祉法人佐賀整肢学園は開設64年目を迎えています。「福祉の町」といわれる佐賀市金立町の地に肢体不自由児施設としてスタートした法人ですが、現在では佐賀市、神崎市、唐津市、福岡県糸島市の4市で、乳幼児から高齢者までの幅広い年齢層の方々、多様な障害を持つ方々とその御家族に対して、医療、福祉分野の専門的サービスを提供する、複数の施設運営を行うまでになりました。以前このタイムスに「創立60周年に思う」という題名で寄稿しましたが、内容は各施設の名称についてでした。今回は「施設が開設するまで」を報告させていただきます。尚、こども発達医療センターの開設までの経緯については「学園タイムス2020-9 Vol.27」を再読ください。

1960年（昭和35年）に産声をあげた肢体不自由児施設佐賀整肢学園こども発達医療センターは、徐々に入所定員を増やし、その後重症心身障害児（者）施設を併設、1997年（平成9年）には、同じ金立町に障害者支援施設（旧身体障害者療護施設）佐賀整肢学園・オックス、1998年（平成10年）に、神崎市に特別養護老人ホーム佐賀整肢学園・かんざき清流苑、2002年（平成14年）に、唐津市にからつ医療福祉センターが開設されました。その後、救護施設佐賀整肢学園・かんざき日の隈寮、養護老人ホーム佐賀整肢学園・佐賀向陽園を県から民間移譲を受け、更に糸島市に地域の要望を受け糸島こどもとおとなのクリニック、唐津市に児童心理治療施設好学舎が開設されました。その中で、私自身が、オックス、かんざき清流苑、からつ医療福祉センターの施設開設業務に関わる事ができましたので、開設に至るまでの経緯について、法人事務局の業務内容を含めて報告させていただきます。

施設を開設するまでには、大きく分けて事業計画の作成、用地の取得、建設工事、職員の雇用があります。

まずは事業計画です。対象者のニーズはどの程度あるのか。県の障害者プラン、ゴールドプラン（当時）に沿ったものなのか。入所定員は何名にするのか（単独入所施設の

場合、最低でも40名はないと採算がとれません）。土地の取得費用は。建築費は。建設について補助金の利用は可能か。借入金は。運営費は。等々。これらを検討し、理事会で事業を進めていく事を決定します。同時並行で行政機関に相談しながら進めていく事になります。

次は用地取得です。土地の取得が完了しないと工事に着手できないため、用地取得は大変重要な業務です。候補地を選定し、地権者や地域住民の方に理解していただき取得していきます。からつ医療福祉センター計画に於いては、馴染みのない地域であったため、地権者との直接交渉ではなく、地元の不動産会社に依頼して、スムーズな取得に向け、働きかけました。このように、状況により取得方法を判断しながら進めていきます。施設を建築する場合広い敷地面積を必要とします。宅地で広くまとまった土地はそう多くはありません。そうすると農地の取得になります。農地の場合は、市の農業委員会の許可が必要となります。申請にあたっては、地権者だけでなく、隣接の耕作者の方、地域の生産組合長（地域耕作者の代表者）、地域自治会長の同意が必要となりますので、皆さんに事業内容を説明し同意をいただき申請することになります。地域住民の方々へ計画する事業内容の説明会を開催し、理解を得る事が必要な場合もあります。そのような手続きを経て用地の取得となります。

次に建設工事です。用地取得や行政との調整と同時並行で建物の設計は進めていく事になります。入所予定者をイメージしながら、何度も打ち合わせを重ね、設計を決定していきます。皆さんが家を新築する場合と同じようなものです。そして補助金の決定後、入札会、工事着工、年度末（3月末）竣工ということになります。

最後に職員の雇用についてです。まず、新設施設の中心となる職員を決定します。その後、必要な職種、人員を決定し、求人、採用を行います。出来るだけ早期に雇用し、実務に対応可能となるよう研修を実施し、利用者様を迎える事になります。

計画から開設までは、約1年半から2年、多くの方々の協力と努力で、大きな問題や事故もなく開設を迎えることが出来ました。

以上、開設までの経緯を簡単に説明しました。しかしながら、開設がゴールではなく開設後の施設運営が重要です。施設は地域で暮らしていく（共生する）事になります。地域との信頼関係を築く事は一朝一夕にはいきませんが、できることを一つ一つ実現させていけば「地域に根ざした愛される施設」になり、その結果、施設の更なる発展につながると思っています。

昇格 人事

法人内の主な昇格人事についてお知らせいたします。



こども発達医療センター

森 英明

副センター長
令和6年4月



こども発達医療センター

和田 晃房

ひまわり園施設長
令和6年4月



こども発達医療センター

石井 清久

たんぽぽ園施設長
令和6年4月



からつ医療福祉センター

久保 和泰

アルトン施設長
令和6年4月



からつ医療福祉センター
好学舎

山田 秀男

施設長
令和6年4月



からつ医療福祉センター

富永 創

からつ・好学舎・糸島事務長
令和6年4月

法人施設長等一覧

●法人事務局

局長 森 英明
副局長 原 勝章

●こども発達医療センター

センター長(院長) 窪田 秀明
副センター長 森 英明
たんぽぽ園施設長(副院長) 石井 清久
ひまわり園施設長(副院長) 和田 晃房
副院長 高杉紳一郎
事務部長(事務長) 石井 茂吉

●オックス

施設長 中島 重信
副施設長 岩瀬 静奈
事務長 森 英明

●かんざき清流苑

●在宅サポートセンターかんざき清流苑

施設長 江口 泰子
副施設長 鶴池 恭子
城島 悦美
事務長 谷口 貴志

●からつ医療福祉センター

センター長 原 寛道
副センター長 岩瀬 裕幸
アルトン施設長(院長) 久保 和泰
副院長 松浦 愛二
渡邊ひさ子
久里双水園施設長 笠野 健二
事務長 富永 創

●好学舎

施設長 山田 秀男
事務長 富永 創

●かんざき日の隈寮

施設長 大島 毅
副施設長 真崎小百合
事務長 谷口 貴志

●佐賀向陽園

●居宅介護支援センターわいわい

施設長 古川 政弘
事務長 大島 和美

●糸島こどもとおとなのクリニック

施設長(院長) 藤井 敏男
事務長 富永 創

評議員一覧

氏 名

横尾 通正
馬場 昌平
安永 治郎
草場 謙
日野 康英
平田 良一
手嶋 純
宮崎 和枝
岩迫真知子

経歴・現職

元当法人常務理事兼法人事務局長
元佐賀県社会福祉協議会副会長
弁護士
草場整形外科 院長
社会福祉法人ゆうかり学園 理事
社会福祉法人慈愛会 法人事務局長
社会福祉法人杏和会やまびこ学園 事務課長
佐賀県肢体不自由児者父母の会相談役
こども発達医療センター父母の会会長

新 昭子
野口 敏雄
牧山 誠子
田中 士郎
江口 賀子
志岐 敦
木場 千春
北島 清澄

こども発達医療センター父母の会副会長
オックス家族会会長
からつ医療福祉センター保護者会会長
元唐津市保健福祉部部長
西九州大学、西九州大学短期大学部准教授
鶴西区長
中村学園大学、中村学園大学短期大学部講師
佐賀市金立公民館館長



新採職員紹介

今春は42名の新規採用職員を迎え、令和6年4月1日に中尾清一郎理事長より辞令が交付されました。また、新規採用職員を代表して、こども発達医療センター配属の藤瀬佳奈美さんが誓いの言葉を述べました。新たな仲間を加え、法人全体で職員は986名になりました。（4月1日現在）

誓いの言葉

私たちは、時代の要請を的確に把握し、総合力を高めて医療・福祉サービスの提供に、先進的かつ積極的に取り組みます。
 私たちは、利用者とその家族の思いをわが思いとして、利用者の明るく、充実した暮らしの実現に努めます。
 私たちは、医療・福祉の専門家としての誇りと熱意を持って、常に自己研鑽に努め、利用者の処遇向上を図ります。
 私たちは、地域の医療福祉の拠点施設として、その機能と役割を十分に発揮できるよう、地域社会との連携と交流促進に努めます。



こども発達医療
センター

藤瀬佳奈美

看護師
第1療育課



こども発達医療
センター

古賀愛梨沙

児童指導員
第1療育課



こども発達医療
センター

梶原 侑真

生活支援員
第2療育課



こども発達医療
センター

富永 輝

生活支援員
西棟療育課



こども発達医療
センター

小松 愛佳

看護師
第2療育課



こども発達医療
センター

藤瀬 怜那

看護師
第3療育課



こども発達医療
センター

梶原理華子

看護師
外来看護課



こども発達医療
センター

築山 和江

看護師
第2療育課



こども発達医療
センター

馬場ゆかり

看護師
第3療育課



こども発達医療
センター

廣門 颯樹

看護師
在宅支援課



こども発達医療
センター

右近 渚

管理栄養士
医療課



こども発達医療
センター

園田 悠斗

理学療法士
理学療法科



こども発達医療
センター

北堀 萌

作業療法士
作業療法科



こども発達医療
センター

串間 隼人

作業療法士
作業療法科



こども発達医療
センター

恵上 博恵

言語聴覚士
言語療法科



こども発達医療
センター

下鶴 美月

心理療法士
医療課



こども発達医療
センター

松井あずさ

心理療法士
医療課



オックス

松尾 崇弘

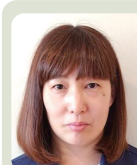
生活支援員
在宅サービス課



オックス

小野有美子

保育士
在宅サービス課



オックス

山川 和美

生活支援員
在宅サービス課



オークス

田中 兼子

生活支援員
在宅サービス課



オークス

西村 愛子

生活支援員
在宅サービス課



オークス

田中みずき

生活支援員
入所サービス課



オークス

ヌ ワーワー リン

生活支援員
入所サービス課



オークス

メイ ノーノ リン

生活支援員
入所サービス課



かんざき清流苑

吉福 七海

介護福祉士
入所サービス課



かんざき清流苑

シ タリ イミティ

介護福祉士
入所サービス課



かんざき清流苑

タパ シルジャナ

介護福祉士
入所サービス課



かんざき清流苑

福田友佳里

看護師
入所サービス課



からつ医療福祉
センター

熊本紗也花

管理栄養士
医療課



からつ医療福祉
センター

大草 美空

理学療法士
リハビリテーション課



からつ医療福祉
センター

吉富 裕平

理学療法士
リハビリテーション課



からつ医療福祉
センター

福岡由理佳

作業療法士
リハビリテーション課



からつ医療福祉
センター

古川 歩

作業療法士
リハビリテーション課



からつ医療福祉
センター

森永 陽菜

作業療法士
リハビリテーション課



からつ医療福祉
センター

トゥザー チョ

生活支援員
看護生活課



からつ医療福祉
センター

ウ エー テータ サン

生活支援員
看護生活課



からつ医療福祉センター
好学会

宮坂 結実

児童指導員
女子棟課



からつ医療福祉センター
好学会

小川 一憲

児童指導員
男子棟課



糸島こどもとおとなの
クリニック

佐藤 理子

理学療法士
リハビリテーション課



糸島こどもとおとなの
クリニック

依田美菜子

言語聴覚士
リハビリテーション課



佐賀向陽園・
わいわい

立石 詩音

介護職員
在宅サービス課



こども発達医療センター



かんざき清流苑



からつ医療福祉センター好学会



オークス



からつ医療福祉センター



糸島こどもとおとなのクリニック



佐賀向陽園・わいわい

新採職員からのひとこと

こども発達医療センター

看護師 藤瀬佳奈美

今年度よりこども発達医療センターの第1病棟で看護師として働かせていただいております。

以前より興味を持っていた小児や障害児・者という分野で先輩方の指導を受け、毎日忙しくも楽しく過ごしています。利用者に関わり、コミュニケーションは言葉だけではないということを感じる日々です。新しく学ぶことも多く自身の未熟さも感じておりますが、何でも吸収して自分の力に変えていきたいと考えています。

利用者の小さな変化にも気づき、的確に判断して行動できる看護師を目指していきたいと思います。精一杯勤めて参りますので今後ともよろしくお願いいたします。

からつ医療福祉センター

管理栄養士 熊本紗也花

今年度より、からつ医療福祉センターで管理栄養士として勤務させていただくことになりました。働き始めて数ヶ月が経過した今、現場の方々の支えもあり、働き始めの頃より仕事内容も覚えつつあることを実感しています。

利用者の方が楽しみにされている食事を提供することへの責任感や、緊張感をもって業務に励んでいきたいと考えています。また、実際に利用者の方と接する機会はあまりありませんが、日々の食事から利用者の方を支えることができる仕事であるため、精一杯頑張っていきたいと思っています。

今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

オークス

生活支援員 松尾 崇弘

昨年より在宅サービス課の生活支援員としてアルバイトをさせていただき、今年度から新規採用職員として勤務させていただくことになりました。社会人1年目ということで不安や緊張もありますが、利用者の方の笑顔や先輩方のアドバイスに助けられ、日々業務を行うことができています。まだまだ慣れないところもあり、迷惑をおかけすることもあると思いますが、周りの方々に感謝することを忘れず、精進していきたいと思っています。

かんざき清流苑

介護福祉士 吉福 七海

社会人一年目で働き始め、利用者の方一人一人の個性や性格に合わせて介助を行う上で、これで合っているのかと不安になる日々ですが、優しい先輩方や同僚に支えてもらい楽しく介護をすることができています。

利用者の皆さんの笑顔を増やせるような介護福祉士を目指して、これからも頑張ります。どうぞよろしくお願いいたします。

からつ医療福祉センター好学舎

児童指導員 宮坂 結実

今年度よりからつ医療福祉センター好学舎で児童指導員として働かせていただいております。

社会人一年目で右も左も分からず、先輩方に教えて頂いている毎日です。児童の目線に立ちつつ客観的に物事を捉えることに大切さを感じています。

現場に入り数ヶ月が経ち、喜怒哀楽を共にすることで視える広い視野を大事にし、子どもたちが安心安全に暮らせる日々を共に作っていききたいと感じております。どうぞよろしくお願いいたします。

糸島こどもとおとなのクリニック

理学療法士 佐藤 理子

専門学校を卒業し、今年度から糸島こどもとおとなのクリニックで理学療法士として働かせていただくことになりました。

社会人一年目で覚えることも多く大変ですが、先輩方に助けてもらいながら毎日楽しく働くことができています。

学生時代の実習とは違い、責任の重さや業務内容も多くなり不安や緊張もありますが、利用者の方からの感謝の言葉や先輩方にご指導いただき、前向きに頑張っています。まだまだ経験不足なところも多くありますが、いち早く一人前の理学療法士になれるよう日々努力していきます。今後ともご指導宜しくお願いします。

佐賀向陽園・わいわい

介護職員 立石 詩音

今年度より居宅介護支援センターわいわいで正規職員として働かせていただく事になりました。現場に入ってからまだ日が浅く、できないことやわからないことがたくさんありますが先輩方からのご指導のもと日々頑張ることができています。利用者の方と接する中で見える優しさやふとした笑顔を見ると喜びややりがいなどを感じながら業務をこなすことができています。

これから様々な悩みや不安を感じる事もありますが、利用者の方との時間を大切に、一人ひとりの声に耳を傾け寄り添った介護が出来る職員になれるように頑張ります。よろしくお願いいたします。

決算報告

資金収支計算書

単位：千円

	勘定科目	予算	決算	差異	
事業活動による収支	収入	介護保険事業収入	620,071	591,108	28,963
		老人福祉事業収入	197,808	194,253	3,555
		児童福祉事業収入	219,195	223,231	△ 4,036
		保育事業収入	5,881	6,299	△ 418
		就労支援事業収入	8,800	3,576	5,224
		障害福祉サービス等事業収入	2,181,969	2,148,127	33,842
		生活保護事業収入	269,612	269,850	△ 238
		医療事業収入	2,940,853	2,898,956	41,897
		私的契約事業収入	8,140	9,397	△ 1,257
		経常経費寄附金収入	6,812	6,589	223
		受取利息配当金収入	19,038	19,257	△ 219
	その他の収入	22,276	20,612	1,664	
	事業活動収入計(1)	6,500,455	6,391,253	109,202	
	支出	人件費支出	4,517,162	4,427,037	90,125
		事業費支出	875,715	840,355	35,360
		事務費支出	613,125	531,274	81,851
		就労支援事業支出	8,800	8,687	113
利用者負担軽減額		1,263	1,222	41	
その他の支出		25	25	0	
事業活動支出計(2)		6,016,090	5,808,600	207,490	
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	484,365	582,654	△ 98,289		
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	37,517	37,472	45
		固定資産売却収入	0	0	0
		施設整備等収入計(4)	37,517	37,472	45
	支出	設備資金借入金元金償還支出	2,760	2,760	0
		固定資産取得支出	155,165	140,987	14,178
		ファイナンス・リース債務の返済支出	0	0	0
	その他の施設整備等による支出	0	0	0	
	施設整備等支出計(5)	157,925	143,747	14,178	
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	△ 120,408	△ 106,275	△ 14,133	
	その他の活動による収支	収入	長期貸付金回収収入	1,306	1,185
積立資産取崩収入			198,149	164,360	33,789
その他の活動による収入			0	0	0
その他の活動収入計(7)			199,455	165,545	33,910
長期貸付金支出			7,923	7,782	141
支出		積立資産支出	758,489	723,177	35,312
		その他の活動による支出	537	537	0
		その他の活動支出計(8)	766,949	731,495	35,454
その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	△ 567,494	△ 565,950	△ 1,544		
予備費(10)	5,202	0	5,202		
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△ 208,739	△ 89,571	△ 119,168		

前期末支払資金残高(12)	2,172,758	2,172,753	5
当期末支払資金残高(11)+(12)	1,964,019	2,083,182	△ 119,163

貸借対照表

資産の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動資産(1)	2,455,563	2,448,428	7,135
現金預金	1,477,281	1,469,742	7,540
有価証券	0	0	0
事業未収金	953,383	912,708	40,675
未収金	0	0	0
未収補助金	10,188	17,746	△ 7,558
医薬品(2)	5,883	4,671	1,212
立替金	820	654	165
前払金	2,175	1,967	209
前払費用	4,197	7,196	△ 2,999
(ワンyearルール流動資産の合計)(3)	0	0	0
1年以内回収予定長期貸付金	0	0	0
仮払金	1,636	3,748	△ 2,112
その他の流動資産	0	29,997	0
徴収不能引当金(4)	0	0	0
固定資産	15,729,177	15,541,297	187,881
基本財産	7,257,709	7,615,297	△ 357,588
土地	1,774,367	1,774,367	0
建物	5,483,341	5,840,929	△ 357,588
その他の固定資産	8,471,469	7,926,000	545,469
土地	677,122	629,054	48,068
建物	154,190	167,142	△ 12,952
構築物	336,894	377,120	△ 40,225
車輜運搬具	22,785	20,058	2,727
器具及び備品	209,684	228,194	△ 18,510
権利	2,750	3,112	△ 362
預託金	3,887	3,859	28
ソフトウェア	13,600	8,874	4,726
長期貸付金	15,829	9,520	6,309
役員退職慰労引当資産	2,110	2,040	70
退職給付引当資産	48,724	41,739	6,985
(積立預金の合計)	6,983,641	6,431,880	551,762
運営資金積立資産	1,169,960	929,329	240,631
土地購入積立資産	512,000	556,000	△ 44,000
建設準備積立資産	880,000	725,000	155,000
人件費積立資産	66,500	66,500	0
修繕積立資産	609,000	588,500	20,500
備品等購入積立資産	328,309	329,678	△ 1,370
減価償却積立資産	3,300,000	3,119,000	181,000
リスク対策積立資産	51,459	51,459	0
移行時特別積立資産	11,000	11,000	0
御下賜金記念基金積立資産	55,000	55,000	0
その他の積立資産	413	413	0
差入保証金	50	50	0
長期前払費用(5)	172	3,328	△ 3,156
その他の固定資産	30	30	0
資産の部合計	18,184,740	17,989,725	195,016

法人全体の令和5年度決算は次のとおりであり、6月27日の定時評議員会で承認されました。
(社会福祉事業：13拠点 公益事業：2拠点)
令和5年度の資金収支差額は△89,571千円であり、サービス活動増減差額は対前年比で98,070千円の減となりました。
また、純資産は97,302千円の増額で約175億円となりました。

事業活動計算書

単位：千円

勘定科目		当年度決算	前年度決算	増減		
サービス活動増減の部	収益	介護保険事業収益	591,108	605,794	△ 14,686	
		老人福祉事業収益	194,253	200,970	△ 6,717	
		児童福祉事業収益	223,231	218,764	4,467	
		保育事業収益	6,299	6,802	△ 503	
		就労支援事業収益	3,576	4,396	△ 820	
		障害福祉サービス等事業収益	2,148,127	2,149,160	△ 1,033	
		生活保護事業収益	269,850	266,180	3,670	
		医療事業収益	2,898,956	2,933,587	△ 34,631	
		私的契約事業収益	9,397	8,962	435	
		経常経費寄附金収益	6,589	5,698	891	
		サービス活動収益計(1)	6,351,385	6,400,312	△ 48,927	
	費用	人件費	4,435,172	4,421,664	13,508	
		事業費	839,143	832,956	6,187	
		事務費	531,274	461,358	69,915	
就労支援事業費用		8,687	8,942	△ 255		
利用者負担軽減額		1,222	1,556	△ 334		
減価償却費		514,587	539,178	△ 24,592		
国庫補助金等特別積立金取崩額		△ 187,891	△ 172,605	△ 15,286		
サービス活動外増減の部	収益	徴収不能引当金繰入	0	0	0	
		サービス活動費用計(2)	6,142,193	6,093,050	49,143	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	209,192	307,262	△ 98,070		
	収益	受取利息配当金収益	19,257	12,806	6,451	
		その他のサービス活動外収益	20,612	15,919	4,692	
	費用	サービス活動外収益計(4)	39,868	28,725	11,143	
		その他のサービス活動外費用	313	2,140	△ 1,827	
	費用	サービス活動外費用計(5)	313	2,140	△ 1,827	
		サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	39,555	26,585	12,970	
	経常増減差額(7)=(3)+(6)	248,747	333,847	△ 85,100		
	特別増減の部	収益	施設整備等補助金収益	37,472	26,199	11,273
			固定資産受贈額	340	0	340
			固定資産売却益	0	524	0
			特別収益計(8)	37,813	26,723	11,090
費用		固定資産売却損・処分損	830	922	△ 92	
		国庫補助金等特別積立金取崩額(除)	△ 810	△ 604	△ 206	
		国庫補助金等特別積立金積立額	37,472	26,199	11,273	
		その他の特別損失	537	0	537	
		特別費用計(9)	38,029	26,517	11,512	
		特別増減差額(10)=(8)-(9)	△ 216	206	△ 422	
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	248,531	334,053	△ 85,522			
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	8,094,172	8,292,490	△ 198,318		
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	8,342,702	8,626,542	△ 283,840		
	基本金取崩額(14)	0	0	0		
	その他の積立金取崩額(15)	161,920	84,500	77,420		
	その他の積立金積立額(16)	713,681	616,870	96,811		
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	7,790,941	8,094,172	△ 303,231		

単位：千円

負債の部			
	当年度末	前年度末	増減
流動負債(6)	594,320	500,902	93,418
事業未払金	298,762	242,152	56,611
(ワンyearルール流動負債の合計)(7)	2,760	2,760	0
1年以内返済予定設備資金借入金	2,760	2,760	0
1年以内返済予定リース債務	0	0	0
預り金	497	504	△ 7
職員預り金	67,380	30,669	36,711
前受金	2	3	△ 2
前受収益	0	990	△ 990
仮受金	30	15	15
賞与引当金(8)	224,890	223,810	1,080
※当期末支払資金残高(1)-(2)-(3)-(4)-(5)-(6)+(7)+(8)	2,083,182		
固定負債	70,844	66,549	4,295
設備資金借入金	20,010	22,770	△ 2,760
リース債務	0	0	0
役員退職慰労引当金	2,110	2,040	70
退職給付引当金	48,724	41,739	6,985
負債の部合計	665,164	567,450	97,713
純資産の部			
基本金	29,492	29,492	0
基本金	29,492	29,492	0
国庫補助金等特別積立金	2,715,502	2,866,731	△ 151,228
国庫補助金等特別積立金	2,715,502	2,866,731	△ 151,228
その他の積立金	6,983,641	6,431,880	551,762
運営資金積立金	1,169,960	929,329	240,631
土地購入積立金	512,000	556,000	△ 44,000
建設準備積立金	880,000	725,000	155,000
人件費積立金	66,500	66,500	0
修繕積立金	609,000	588,500	20,500
備品等購入積立金	328,309	329,678	△ 1,370
減価償却費積立金	3,300,000	3,119,000	181,000
リスク対策積立金	51,459	51,459	0
移行時特別積立金	11,000	11,000	0
御下賜金記念基金積立金	55,000	55,000	0
その他の積立金	413	413	0
次期繰越活動増減差額	7,790,941	8,094,172	△ 303,231
次期繰越活動増減差額	7,790,941	8,094,172	△ 303,231
(うち当期活動増減差額)	248,531	334,053	△ 85,522
純資産の部合計	17,519,576	17,422,274	97,302
負債及び純資産の部合計	18,184,740	17,989,725	195,016

- 減価償却費の累計額 8,188,361,936 円
- 徴収不能引当金の額 0 円



季節感ある甘味を利用者の皆さんに味わってほしいという思いから、デイサービスでは4月にお茶会を実施しました。お茶会の案内をすると

利用者の方々から「楽しみだな」と言った声が聞かれ、私たち職員も準備に一段と力が入りました。

当日はたくさんの利用者の方がデイルーム内の会場にられ、わくわくした表情を見せてくださいました。初めてお茶を点てる方もいらっしまったので、お茶と茶筌の使い方の説明を始めに行いました。抹茶椀にお湯を注ぎ、茶筌を使い泡立てていくと、段々と濃い抹茶の香りが広がっていき「いい匂いがする」とあちこちで聞かれました。苦い抹茶に挑戦したいと言われる方もいて、いざ飲まれると「なるほど」と渋い顔をされながらも、深く味わっておられました。「久しぶりに抹茶を飲みました」と話される方もおられ、どこか懐かしく、また思い出深い味わいだったようです。お茶を点てた後は甘いフラペチーノにアレンジし、

皆さんに食べていただきました。「甘くて美味しい!」と喜ばれていました。

イベント終了後、利用者の皆さんから好評の声をいただき、とても励みになりました。今後もたくさんの方が楽しめるイベントを企画していきたいと思います。



(在宅サービス課 生活支援員 西元 暢一郎)



5月に入り、例年になく暑い日が続いたため、利用者の皆さんの衣替えの検討を始めることにしましたが、いつも同じような衣類になってしまっていたり、洗濯による劣化や体型の変化等もあつたりと夏物の衣類や下着が不足していることが判明しました。これを機会に利用者の皆さんと一緒に衣類を選び、買い物を楽しめる会を設けようと考えました。

事前に家族様へお便りを出し、了解を得ることもでき、業者の方の協力もあって以前からの念願であった



買い物会を5月14日に苑内にて開催することができました。業者の方がホールにたくさんの洋服を陳列してくださり、いつもとは違うBGMが流れ、買い物かごやレジでのお会計、まるでお店に来たかのような雰囲気になりました。普段なかなか外出や買い物に行けない中、利用者の方にたくさんの洋服の中から自分の好みの洋服を選んで存分に買い物を楽しんでいただこうと、他にも風船を飾ったり、商店街風の門を作成したり、いろんな工夫を凝らしてみました。女性だけでなく男性も洋服選びを楽しまれました。ゆっくりと買い物を楽しんだ後は職員によるカフェでお茶を飲んで過ごされ、たくさんの笑顔が溢れる会となりました。



(入所サービス課 主任 御厨 和子)

事業所 TOPICS

(4月～7月)

白熱!第1病棟 2024! (体育大会) 6月

こども発達医療センター

コロナ感染予防のため今年度も病棟での体育大会を開催しました。

今年は SAGA2024 (国スポ・全障スポ) をテーマに実際に実施する競技をもとに種目を考えました。保護者の方々に向けた ZOOM 配信を実施することで体育大会の様子を観ていただくことができ、利用者の皆さんもとても気合いの入った様子が見られました!

はじめに今年度の新規職員を手本に「ぼよん行進曲」を踊ったり、各組を2チームに分けて玉入れ合戦をしたりポッチャボールやラケットなどの様々な道具を使ってボールを投げたりして点数を競い合いました。利用者の皆さんの水分補給中には、職員競技として SAGA2024 で使用しているピクトグラムに合わせてポーズをとるゲームを行い、職員の真剣な姿や面白い姿に笑いや応援など歓声がやみま



せんでした。最終競技では全員リレーを行い、一人ひとりの名前が刻まれたバトンをみんなで繋いで最後は大盛り上がり! 接戦の戦いを見せてくれました!

また ZOOM 配信で観てくださった保護者の方々にも「とてもよかった」「様々な表情をみることができた」とお褒めの言葉をいただきました。

まだまだ感染予防は必要な時代ではありますが、第1病棟全員が一丸となり楽しむことができた体育大会となりました。



(第1療育課 生活支援員 大坪 希衣)

夏祭り

7月

からつ医療福祉センター

からつ医療福祉センターでは、7月27日に夏祭りを行いました。コロナの再流行の兆しがあったため、来賓の方とボランティアの方には参加をご遠慮いただき、プログラムを縮小して開催しました。また、ご家族の方には入り口での検温とマスクを着用していただき、利用者の方については昼食を部署別に食べていただく等の感染対策を行うことで、5年ぶりにセンター全体で開催することができました。当日はカレーや焼きそば、フランクフルト、かき氷、ヨーヨー釣りやくじ引きなど8種類の出店が並び、利用者の方とご家族の方が一緒にチケットを握って笑顔で買い物をする様子が見られました。ヨーヨー釣りやくじ引きでは、利用者の皆さんの真剣な姿、またくじ引きの景品が当たって嬉しそうな表情を多く見ることができました。くじ引きで1等の大きな水鉄砲が当たった利用者のご家族からは「驚いています。今度親戚が集まるのでみんなで遊びたいと思います。」と喜びの声が聞かれました。

また、各部署からは、マツケンサンバやサザエさんのテーマ曲など親しみのある曲を使用したステージ発表がありました。いつもと違う雰囲気の中ではありませんでしたが、発表す



る方はもちろん、観客として見ていた利用者やご家族の方も曲が流れると身体が動き、部署関係なく会場一体となって楽しむことができました。その後行われた大抽選会でも、チケットに記入された数字を見ながらアナウンスに耳を傾け、驚きの表情を見せながらステージに出てくる利用者の方とご家族の様子がみられ大いに盛り上がりを見せていました。

とても暑い中での開催ではありましたが、会場は、利用者の方とご家族の方、元気な子ども達の笑顔であふれ、一緒に夏祭りを楽しまれていました。最近ではコロナやその他の感染症、温暖化による酷暑等の影響により、利用者の方とはもとより、職員の体調管理など運営が難しい部分もありますが、今後も利用者の方とご家族と一緒に、笑顔で楽しい時間を過ごせる機会を作っていけたらと思います。



(入所サービス課 生活支援員 嶋崎 健一郎)
(児発センター課 保育士 豊増 愛菜)

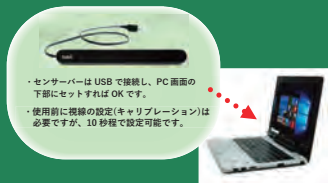
教えて!●●先生

第5回 『うちのリハ部から』

最近ではテレビや映画などでも目にするもののある視線入力装置。実はこども発達医療センターでも活用されています。今号はそんな視線入力装置について分かりやすく紹介します。

数年前より、こども発達医療センターのリハビリテーション部では「視線入力装置(トビー)」を導入し、入所・外来患者の方のリハビリに活用しています。

「視線入力装置って?」という方の為に、どの様なものか簡単に説明しますと、普段PCで皆さんがマウスやキーボードにて行っている操作を、手ではなく視線(眼球)の動きによって操作できるようにする装置です。したがって麻痺等により手の操作が困難な方でも、対象を注視する・追視することができれば、画面上のカーソルを動かしてPCを操作できるわけです。装置自体も大掛かりなものではなく、PCに専用のソフトをインストールして、視線を感知するためのセンサーをセットすれば準備完了です。PCが使える環境であれば、場所を選ばずに使用することができます。



実際のリハビリ場面では、画面上に出てきたターゲットに視線を合わせると動きや音が出るゲームなどを通して、達成感や楽しみを感じていただく時間に繋げることが多いですが、そこから「自分の好きな物を見る(選ぶ)」など、ご本人の意思表出手段に発展させることも目標に活用しています。

(こども発達医療センター リハビリテーション部 係長 前川雄也)

Relay Column

リム、コラム



からつ医療福祉センター
児発センター課 発達支援係
保育士

まつお かな
松尾 看那

からつ医療福祉センターのまつぼっくり教室で働き始めて、4年目になります。ここで働くようになってから自分の趣味に時間を使うことができるようになってきました。休みの日は、好きな映画鑑賞や絵を描いたり、近所を散歩して毎日5000歩以上歩くようにしています。昼からビールやいも焼酎の水割り飲むのも休日の楽しみです。福岡にはお笑いのよしもの劇場があり、観に行くことにもハマってます。(ゆりやんレトリィバァや笑い飯で涙が出るほど笑ってます)。暖かくなり、春からはプランターでピーマンとナス、バジル、ニラ、しそを育て始めました。気温が上がるといきいきと芽が出て伸びていく植物を見て嬉しくなったり癒されています。いまは葉を食べにくる虫との戦いで、朝夕にじっくり葉の裏まで観察して目を光らせています。そして新しく趣味にしたいと最近始めたことは、読書です。もともと本を読むことが苦手で、年に1冊読めれば良いほうでした。活字を読むことに慣れると仕事にもいいと思い、取り組んでいます。ドラマや映画でサスペンスや探偵ものを観るのが好きなので、アガサクリスティのミステリー小説から読み始めることにしました。図書館に行つて、最初は30ページくらい読むと睡魔に負けてしまいました。今の目標は、週に1冊読みきることができるようにしたいです。

NEXT...糸島こどもとおとなのクリニックのあの人にバトンタッチ!!

令和6年4月～令和6年7月

協力ボランティア

- 【こども】 清和高校様、整肢学園友の会様、親和会様
- 【清流苑】 ビハール神埼様、ひよっとこの会様、音楽愛好会カノン様、藤間静浄様(日舞)
- 【オークス】 切り絵アート倶楽部4名様、大島麻池子様(歌・オカリナ演奏)、宮添有里様(チェロ演奏)、佐賀清和高等学校37名様、原理容店様、ヘッズファクトリー様
- 【日の隈】 藤間静浄様、大田真智子様(日舞クラブ)、高口美奈子様(フラワーアレンジメントクラブ)
- 【向陽園】 佐賀少年刑務所様、有限会社ファニー企画様、佐賀県聴覚障害者協会様、浄土真宗佐賀教区巨勢組様、巨勢組仏教婦人会様

施設見学来訪

- 【こども】 柳川市民生委員児童委員協議会23名様、福島整肢療護園8名様、国際医療福祉大学大川キャンパス言語聴覚学科2名様
- 【オークス】 西九州大学社会福祉学科40名様、障がい者支援施設たいようの里4名様
- 【からつ・糸島】 か)糸島こどもとおとなのクリニック4名様、瑠璃光苑1名様、唐津特別支援学校8名様、伊万里特別支援学校6名様、鷹島中学校1名様、エルアン幼稚園1名様、糸)今津特別支援学校3名様、前原南小学校1名様
- 【向陽園】 循誘地区民生委員・児童委員協議会19名様、開成地区民生委員・児童委員協議会21名様、民生委員・児童委員協議会地域福祉推進部会14名様

実習生受入

- 【こども】 大分リハビリテーション専門学校言語聴覚士科1名、佐賀大学医学部1名、西九州大学リハビリテーション学科2名、西九州大学幼児保育学科2名、柳川リハビリテーション学院言語聴覚学科1名、西九州大学子ども学科4名、西九州大学短期大学地域生活支援学科2名、熊本総合医療リハビリテーション学院作業療学科1名
- 【オークス】 西九州大学短期大学部地域生活支援学科6名、金立特別支援学校5名
- 【清流苑】 佐賀女子高校26名、神埼清明高校10名、神埼高校4名
- 【からつ・糸島】 か)西九州大学リハビリテーション学科1名、西九州大学こども学科2名、西九州大学短期大学部幼児保育学科4名、福岡医健・スポーツ専門学校1名、伊万里看護学校25名、好)西九州大学短期大学部幼児保育学科1名、西九州大学子ども学科1名
- 【日の隈】 麻生医療福祉&保育専門学校福祉心理学科2名、神埼清明高校4名、西九州大学短期大学部地域生活支援学科2名
- 【向陽園】 神埼清明高校10名

見どころ

令和6年度が始まり、今年度も喜ばしいことに新規採用職員が入职しました。フレッシュで希望に満ち溢れた想いが伝わってくる一冊となり、私自身改めて初心に立ち戻る機会をいただきました。学園タイムスは12年目を迎え、より一層お楽しみいただける情報をお届けできたらと思っております。今年度もぜひご覧ください。



社会福祉法人 人を支える 生活を支える
佐賀整肢学園
SAGA SEISHI GAKUEN Since 1960

■発行: 令和6年9月 ■発行元: 社会福祉法人 佐賀整肢学園
■発行者: 理事長 中尾清一郎 ■編集: 法人広報誌編集委員
■表紙撮影: 松浦 愛二(からつ医療福祉センター)